

地域別意見交換会における参加者からの意見（抜粋）

令和5年8月実施

1 地域別意見交換会実施目的

- ・次期横須賀市地域福祉計画の策定に当たり、地域に対する思いや課題を共有し、各地域において「誰も一人にさせないまち 横須賀」を実現するために必要な取り組みを検討するきっかけとする。
- ・同じ地域で活動する他の担い手との顔の見える関係が築けていない地域については、仲間づくりを進めるきっかけとする。

2 参加者

行政センターの管轄地域ごとに地区連合町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区ボランティアセンター、障害者相談サポートセンター、地域包括支援センター等福祉関係団体のほか、地域住民が参加。

3 開催実績（実施期間：令和5年（2023年）8月1日～8月27日）

地域	開催日程・場所	参加人数
追浜	8/25（金）追浜コミュニティセンター 第2学習室	12名
田浦	8/24（木）田浦コミュニティセンター 第2学習室	8名
長浦	8/27（日）長浦コミュニティセンター 第2・3会議室	14名
逸見	8/19（土）逸見コミュニティセンター 学習室	10名
本庁①	8/22（火）横須賀市役所 3号館3階301会議室	26名
本庁②	8/4（金）横須賀市役所 3号館3階302会議室	22名
衣笠①	8/10（木）衣笠コミュニティセンター 第1会議室	4名
衣笠②	8/21（月）衣笠コミュニティセンター 第1会議室	6名
大津	8/8（火）大津コミュニティセンター 学習室5	13名
浦賀・鴨居	8/16（水）浦賀コミュニティセンター分館 第2学習室	9名
久里浜①	8/18（金）横須賀市教育研究所 第2研修室	15名
久里浜②	8/24（木）久里浜コミュニティセンター 和室	7名
北下浦	8/23（水）北下浦コミュニティセンター 第1学習室	19名
西（武山）	8/10（木）武山市民プラザ 会議室A・B	9名
西（長井）	8/1（火）長井コミュニティセンター 第2会議室	10名
西（大楠）	8/23（水）西コミュニティセンター 第3学習室	7名
全市①	8/14（月）横須賀市役所 2号館6階261会議室 （台風7号接近により中止）	—
全市②	8/26（土）横須賀市立総合福祉会館 2階会議室	6名
	合計	197名

1 地域における支え合いの基盤づくりの促進

(1) 地域における支え合いの基盤づくりの促進

○ 現状

- ・毎日実施しているラジオ体操は安否確認にも一役買っている。(長井)
- ・地域包括支援センターの職員が地域のラジオ体操に参加し、顔の見える関係が築けている。(衣笠)
- ・町内会加入のメリットがあるように、夏祭りの際に引き換えができる「景品引換券」を回覧板で回している。(武山)
- ・マンション居住者向けのイベントを行ったが、近隣の子どもも参加してくれた。(久里浜)
- ・地域のネットワークが形成されており、町内会・自治会、老人会の活動が活発な地域がある。(本庁)
- ・町内会・自治会の運営方法として、万が一の時、副会長誰もが会長の代行となれるように準備している。(田浦)
- ・子ども服や日用品を互いに持ち寄って、必要な人に譲る集まりがある。その際に、育児に不安のある保護者が集まり、高齢者から話を聞いている。(追浜)

○ 問題

- ・世代を問わず地域のつながりが希薄化している。(本庁)
- ・地域のイベントが日常的なつながりの生成に結び付いていない。(武山)
- ・地域のイベント情報を知ることができず、参加できない人がいる。(浦賀・鴨居)
- ・新しく住んだ人と顔の見える関係性が築けていない。(衣笠)
- ・学校と地域との連携体制が築けていない。(久里浜)
- ・障害者やひきこもりなど、支援が必要な人の情報を地域で共有できていない。(追浜)

○ 今後取り組みたいこと(施策)

- ・サロンを開催できていない町内会・自治会に対して、出張サロンの開催を検討したい。(長井)
- ・高齢者・障害者といった限定をせず、多世代で交流したい。(本庁)
- ・今回の意見交換会のように、皆で顔を合わせて話をする場を今後も継続していきたい。(本庁)
- ・市職員に地域のことを知ってほしい。地域の力になってほしい。(本庁)
- ・地域活動の核である町内会・自治会活動を、地域の各団体とも協力して盛り上げていきたい。(大津)
- ・マンションでも、イベントを通して、住民相互のつながりを築きたい。(逸見)

(2) 地域における健康増進の取り組みの支援

- 現状
意見なし。
- 問題
意見なし。
- 今後取り組みたいこと（施策）
 - ・高齢者の健康寿命を延ばす支援をしてほしい。（追浜）

(3) 地域における交流の促進

- 現状
 - ・段差があることで集いの場として利用しにくかった町内会館・自治会館に、手すりを設置することで、利用しやすくなった。（本庁）
- 問題
 - ・地域住民が気軽に集える場がない。（武山）
 - ・自宅まで車が入れないため、交流拠点に行けない人がいる。（逸見）
 - ・青少年の家や幼稚園など地域の施設が閉鎖されてしまい、集まる場所がなくなる。（大楠）
- 今後取り組みたいこと（施策）
 - ・将来的に廃止される公共施設がある場合には、その跡地を地域のために活用したい。（本庁）
 - ・人が集まる拠点にするために自治会館を改修したいが、自治会費を値上げすることは難しい。市の補助金を拡充してほしい。（長浦）

(4) 地域における見守り体制の充実

- 現状
 - ・民生委員児童委員の欠員区域を、他の民生委員児童委員だけでなく、地区社会福祉協議会もフォローしている。（逸見）
- 問題
 - ・児童委員としての活動が地域に把握されていない。民生委員活動とともに周知に努めたい。（浦賀・鴨居）
 - ・町内会・自治会に加入していない住民への情報共有が難しい。（北下浦）
- 今後取り組みたいこと（施策）
 - ・子ども食堂の活動を地域全体に広めたい。（大津）
 - ・顔の見える関係を築くことで、自然と地域の状況を把握できるようにしたい。（大津）

- ・民生委員児童委員に協力してもらい、地域の見守りを強化したい。(衣笠)
- ・長井地区のように「まちの保健室」を開けたらいい。(武山)
- ・新任の民生委員児童委員が活動内容を学ぶ機会を設けてほしい。(逸見)
- ・町内会・自治会や民生委員児童委員の活動が地域に理解されていないので、まずは知名度の向上に努めたい。(本庁)
- ・問題を抱えた地域住民を行政や地域包括支援センター等に紹介した後の、継続的な支援を地域でも担えるようにしたい。(北下浦)
- ・一人暮らしの高齢者だけでなく、高齢者のみの世帯への支援も強化していきたい。(北下浦、田浦)
- ・現状を鑑みて、民生委員児童委員制度を根本的に見直してほしい。(久里浜)

(5) 災害に備える地域づくりの促進

○ 現状

- ・防災訓練の際に参加者へ煮込みうどんをふるまっている。ふるまいの時の交流を目当てに参加する人もいる。(長井)
- ・夏祭りイベントの際に、防災倉庫や給水場所を巡るポイントラリーを取り入れた。(久里浜)
- ・集合住宅の居住者台帳に血液型などの詳細な情報を書き加えることで、非常事態への対応に役立てている。(本庁)
- ・避難訓練の際、障害者支援団体の職員を講師として招き、支援方法を学んでいる。(追浜)

○ 問題

- ・災害時などに配慮が必要な人(障害者、ひとり親世帯等)を地域で把握できていない。(大津)
- ・災害時の対応を民生委員児童委員に依存している住民が多い。(北下浦)
- ・災害時に、一人暮らし高齢者を避難させる方法がない。(長浦)

○ 今後取り組みたいこと(施策)

- ・災害時の対応の情報周知に努めるとともに、住民への当事者意識の浸透を徹底したい。(衣笠)
- ・要援護者と支援可能な住民とのマッチングを進めていきたい。(本庁)
- ・学校と交流しながら避難訓練を行いたい。避難訓練の日程を調整するなどして、学校が協力しやすい体制を作りたい。(久里浜)

2 包括的・継続的な支援体制の充実

(1) 福祉の各分野における相談支援体制の強化

- 現状
意見なし。
- 問題
 - ・緊急連絡先がなく、福祉サービスを受けられない高齢者がいる。(北下浦)
- 今後取り組みたいこと（施策）
 - ・一人暮らしの障害者の中には、福祉サービスを受けるための申請書類が郵送されても記入できない人がいるので、相談支援事業所にも情報提供してほしい。(衣笠)
 - ・現状の福祉は高齢者への支援に偏っていると感じる。子どもへの支援が十分にできていないのではないか。(追浜)

(2) 家族丸ごとの相談支援体制の拡充

- 現状
意見なし。
- 問題
 - ・福祉のサービスを利用することに抵抗感のある人がいる。(全市)
- 今後取り組みたいこと（施策）
 - ・休祝日に時間を問わず対応してくれる窓口が欲しい。(長浦)

(3) アウトリーチ支援の拡充

- 現状
意見なし。
- 問題
 - ・「8050問題」など、困っている実感がない人への対応が難しい。(追浜)
- 今後取り組みたいこと（施策）
 - ・障害等専門的なケースワーカーを派遣してほしい。(本庁)

(4) 権利擁護の取り組みの支援

現状、問題、今後取り組みたいこと（施策）ともに意見なし。

(5) 防犯・再犯防止に関する取り組みの推進

現状、問題、今後取り組みたいこと（施策）ともに意見なし。

3 多様な担い手の育成・参画の推進

(1) 地域福祉の担い手の育成・参画の推進

○ 現状

- ・サロンの企画担当を当番制にして、みんながサロンを企画できるようになった。(浦賀・鴨居)
- ・お祭りやイベントの企画や運営等を若手に任せ、時間が足りない準備の部分は高齢者が引き受けるといった形で分業することで次世代への継承を図っている。(久里浜)

○ 問題

- ・世代交代がうまく進んでいない。(大津)
- ・民生委員児童委員の担い手が不足している。(本庁)
- ・ボランティアの高齢化により、担い手が不足している。(久里浜)
- ・地域の団体内の人間関係が強くなり、新規会員が入りづらくなっているように感じる。(逸見)
- ・現役世代への引継ぎができていない。(逸見)

○ 今後取り組みたいこと(施策)

- ・地域活動をしている人とボランティアセンターのつながりを作りたい。(長井)
- ・「民生委員児童委員は大変。」というイメージが根強いが、近年では勤めながら活動する人もいる。こうした事例を周知していきたい。(本庁)
- ・意欲のある民生委員児童委員が活動を続けられるよう、民生委員児童委員の定年制度を見直してほしい。(久里浜)
- ・地域活動のデビューをするときに行政にサポートしてもらいたい。(逸見)
- ・地域福祉計画(概要版)に地域の担い手として多くの団体が羅列されているが、同一人が複数の団体の役員を兼任している場合も多いことを理解してほしい。(本庁)
- ・消防団や商工会議所など、より多様な地域の担い手と意見交換する機会を設けてほしい。(久里浜)

(2) 地域福祉に関わる専門職等の確保・養成

現状、問題、今後取り組みたいこと(施策)ともに意見なし。

(3) 福祉団体の活動の支援

○ 現状

- ・防犯パトロールをしていると、児童・生徒が声を掛けてくれる。(全市)

○ 問題

- ・高齢者の中には、町内にある坂道を自力で下りられない人もおり、買い物の同行支援等を必要としている。(衣笠)
- ・町内会・自治会役員や民生委員児童委員の担い手不足。(本庁)
- ・福祉団体の活動が地域住民に周知されていない。(全市)
- ・ごみ出しや買い物が難しい人がいる。宅配も利用するが、注文の下限額があるため、利用しにくい。(本庁)

○ 今後取り組みたいこと(施策)

- ・地区ボランティアセンターにも「ワンコインボランティア」を導入していきたい。(本庁)
- ・一人では地域のイベントへの参加が難しい人を、迎えに行くサービスを展開したい。(浦賀・鴨居)
- ・民生委員児童委員に負担が集中しているので、地域で負担を分散できるように制度を整えてほしい。(衣笠)
- ・民生委員児童委員の役割ではないが、民生委員児童委員が担わざるを得ないケースがあることを理解してほしい。(衣笠)
- ・お寺が主催して子ども食堂を開催している事例がある。宗教法人ではあるが、行政の方向性と合致する場合には協力してほしい。(大楠)
- ・解決できない問題はチームを作って取り組んでいく。(全市)

4 心のバリアフリーの促進

(1) 他者に対する思いやりの心の醸成

- 現状
意見なし。
- 問題
 - ・現役世代の地域への関心が失われている。(久里浜)
- 今後取り組みたいこと (施策)
 - ・「誰も一人にさせないまち」は実現こそ難しいが大事な概念である。さまざまな意見があると思うが言い続けてほしい。(大津)
 - ・障害者施設や学校と協力して、地域一体で参加できるようなイベントを計画したい。(久里浜)

(2) ソーシャルインクルージョンの促進

- 現状
意見なし。
- 問題
 - ・障害者と地域のつながりが築けていない。(久里浜)
 - ・一人が好きな人、人とつながりを作ることができない人とどうやってつながるか。(本庁)
 - ・地域に住む外国人と顔の見える関係性づくりができていない。(追浜)
 - ・地域のつながりを求めない人がいる場合の対応方法が分からない。(長浦)
- 今後取り組みたいこと (施策)
 - ・障害者への偏見を取り除くために、直接顔を合わせる機会を設けてほしい。(大津)
 - ・障害者施設(調理室やステージ等)を利用してもらい、地域の集まりやイベントを開催したい。(久里浜)
 - ・障害者団体と地区社会福祉協議会とで協力し、障害者と住民の顔の見える関係を築きたい。(逸見)
 - ・家庭を築くことを望まない人もいるということへの理解を深めてほしい。(本庁)
 - ・地域の外国人と関係を築いていきたい。(大楠)

(3) 新たな情報共有の仕組みづくりの推進

○ 現状

- ・障害者地域作業所のお菓子を浦賀奉行所の土産品として、付加価値を付けて販売した。(全市)

○ 問題

- ・支援を必要とする人に福祉サービスの存在が伝わっていない。(追浜)

○ 今後取り組みたいこと(施策)

- ・市の広報などインターネット等を経由して発信される情報が増える中で、インターネット等で情報を得ることが難しい人に配慮してほしい。(大津)
- ・スマートフォン講座の開催時には、便利な機能や実際に使用した場合の利点などを紹介して、利用の動機付けをしてほしい。(衣笠)
- ・地域の銀行や病院、薬局と連携し、地域のイベント情報を得る機会を増やしたい。(浦賀・鴨居)
- ・地域の現役世代と協力して高齢者向けのLINE教室を開き、現役世代と高齢者との関係性を築きたい。(本庁)
- ・住民票の異動と連携して、民生委員児童委員に情報が提供されるようにしてほしい。(北下浦)